



●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■施工される方へのお願い

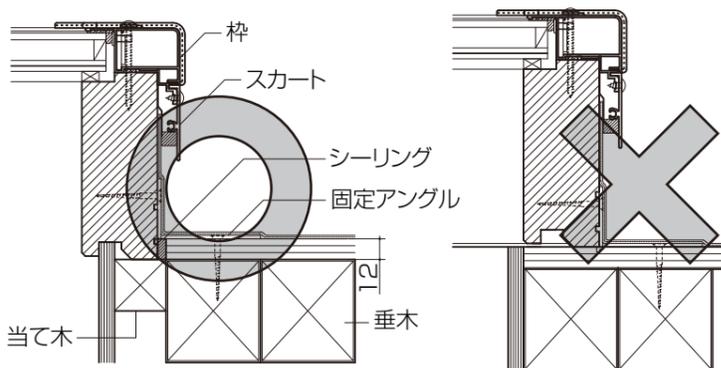
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 雨漏りの原因となりますので、下記事項をお守りください。
- ・この商品は、野地板表面からの高さが7mm以上(瓦棧のつくもの)で瓦棧からの高さが100mm以内の屋根材専用です。7mm未満の屋根材には「コロニアル用水切りセット」をお使いください。
- ・水切りを取付ける前に、「スカイシアター」本体が標準施工であることを確認してください。標準施工とは、「スカイシアター」本体が野地板より一段(12mm)下がった当て木の上に取り付けられる仕様をいいます。
- ・瓦棧の高さは、必ず15mm～18mmのものを使用してください。水切りの納まりが悪くなるおそれがあります。
- ・本体のコーナー部は、本文にしたがってルーフィングのコーナーが重なるように処理を行ってください。
- ・コーナーブチルの張付けはピンホールができないように、角部まで押付けてください。
- ・本文中のシーリング指示箇所には、必ずシーリング材で防水処理をしてください。
- ・水切りの3方(棟側・左右縦側)には、必ずドライ面戸を張付けてください。屋根材の裏側に水が浸入するおそれがあります。
- ・エプロンとドライ面戸のすき間のシーリングを必ず実施してください。
- ・開口部の軒側端部から瓦棧までの距離は、必ず120mm～150mmの間に納まるようにしてください。また、水切り部に水がたまらないようにエプロン受け台を取付け、軒側瓦の端部を面取りしてください。
- ・瓦の施工時、本体と棟側瓦との間は100mm～130mmあけて、縦側瓦との間は50mm～80mmあけてください。
- ・エプロン裏面のリケイ紙をはがしてから瓦の形状になじませてください。また、強くたたいたり、引っ張ったりしてエプロンに穴をあけないでください。あいた場合には交換してください。
- ・スカートは組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先に付けるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなります。
- ・水切りは部材番号印の番号順に、また文字が反転しないように取付けてください。
- ・防水テープは浮き、シワにならないように強く押付けて張付けてください。

■標準施工



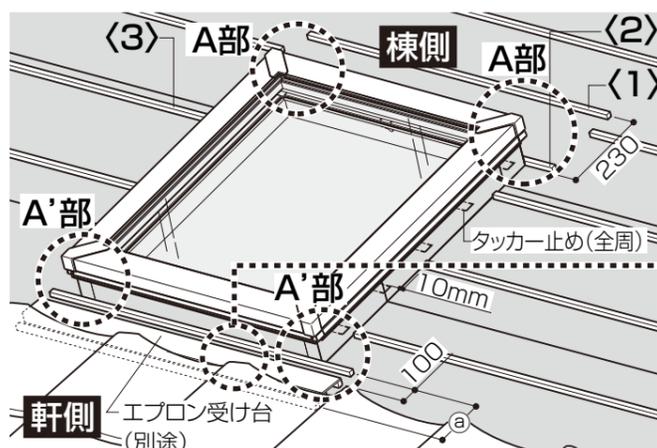
■梱包部材・部品一覧表

水切り	水切り固定スクリュー釘
①軒側水切り ②縦側水切り(右) ③縦側水切り(左) ④棟側水切り	ドライ面戸
	縦用…2本 横用…1本

■取付け順序

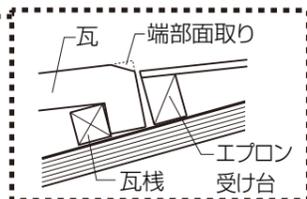
①ルーフィングおよび下地の施工

- 下図のようにルーフィング(別途手配)を張ります。ルーフィングは、防水テープをめくり、防水テープの内側まで立ち上げてください。
- 瓦棧<1>～<3>(別途手配)を取付けます。
- ※瓦棧は水切り施工する前に、必ず下図のように通しで取付けてください。
- 瓦棧と本体縦桼は排水性確保のため、すき間を10mmとってください。
- エプロンがへこんで穴があかないよう、②寸法部にエプロン受け台(別途手配)を取付けてください。

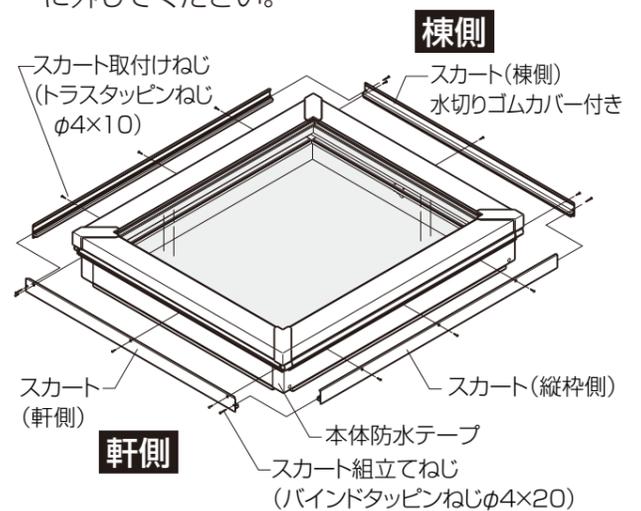


▲注意

- ②寸法は120mm～150mmで取付けて、水切り部に水がたまらないようにエプロン受け台を取付け、軒側瓦の端部を面取りしてください。

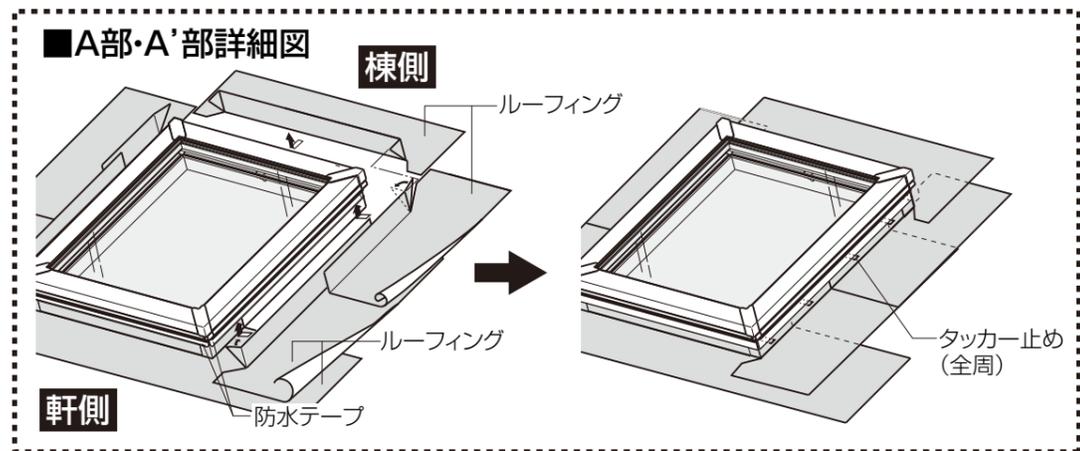


- ①スカートの取外し
- ※スカート・ねじは大切に保管し、取付け時には必ず取付けてください。
- スカート取付けねじ→スカート組立てねじの順に外してください。



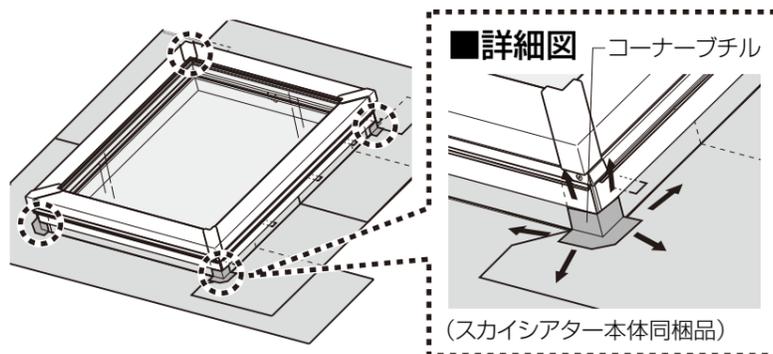
②ルーフィングのコーナー処理(A部、A'部詳細図)

- 本体についている防水テープをめくり、防水テープの内側までルーフィング(屋根下地)を立ち上げてください。
- 立ち上げたルーフィングは、枠へタッカー止めしてください。



③コーナープチル(付属品)の張付け

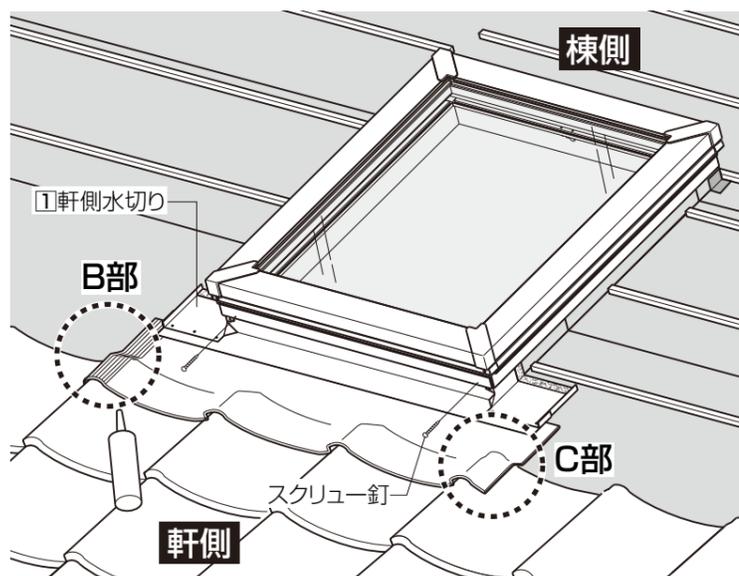
- コーナープチルを本体の4隅に張付けます。



▲注意
●ピンホールができないように角部まで押付けてください。

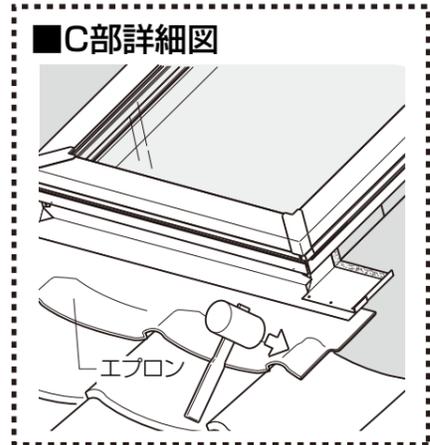
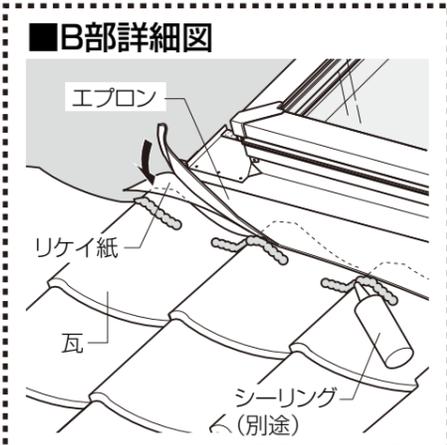
②軒側水切りの取付け

- 水切りの取付け順序は部材番号印の番号順に防水テープをめくって取付けます。
- 軒側水切り(1番)を本体と左右のチリを合わせて、スクリー釘で取付けます。
- エプロンをめくり裏面のリケイ紙をはがしてください。
- エプロンの先端部にシーリング(別途手配)処理をしてください。(B部詳細図参照)
- エプロンを瓦の形状に合わせて、中央部から端部になじませます。(C部詳細図参照)



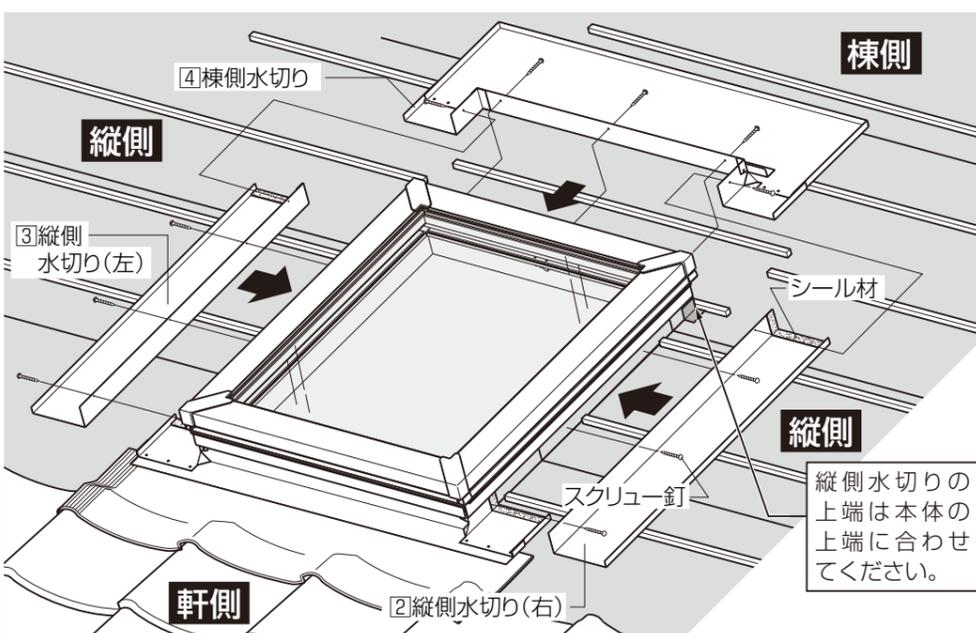
▲注意

- エプロン裏面のリケイ紙をはがしてから瓦の形状になじませてください。
- 強くたたいたり、引っ張ったりしてエプロンに穴をあけないでください。あいた場合は交換してください。
- 水切りは部材番号印の番号順に、また文字が反転しないように取付けてください。
- シーリング指示個所には、必ずシーリング材で防水処理をしてください。



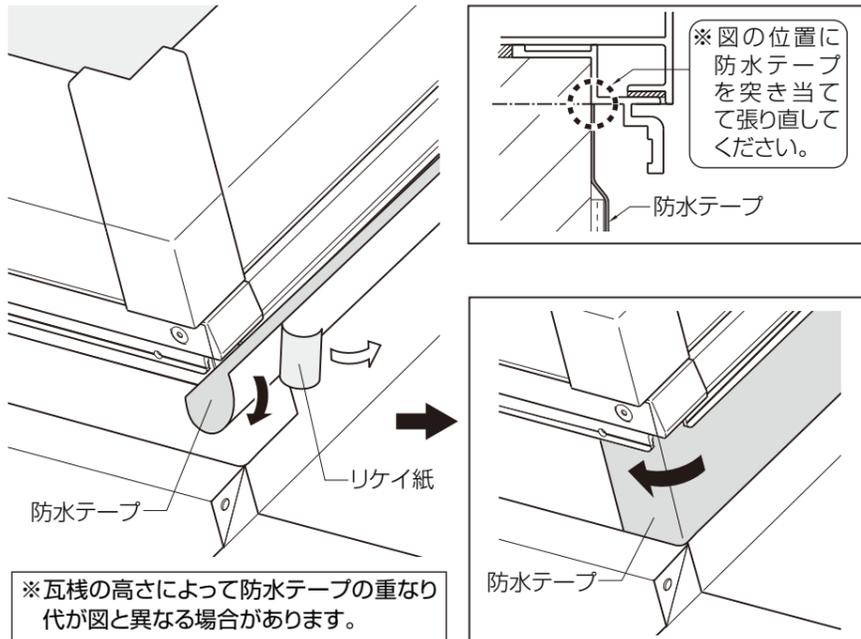
③縦側・棟側水切りの取付け

- 軒側水切りに続いて、下図のように防水テープをめくって、縦側水切りと棟側水切りを取付けます。(釘で固定します。)
- ※縦枠水切りを先に取付けてください。シール材が棟側になるように配置してください。
- ※棟側水切りは本体と左右のチリを合わせて、棟側面をスクリー釘で取付けた後、縦側面をスクリー釘で取付けてください。



④本体防水テープの張付け

- 本体防水テープのリケイ紙を、水切りの取付け順序と同じ番号順ではがし、水切りとすき間、浮き、シワにならないように全体を圧着し張付けます。端部のはみ出しは、巻込むように重ねて張ってください。
- ※防水テープは強く引っ張ってはがさないでください。はがれた場合には図のように張り直してください。



▲注意
●防水テープは浮き、シワにならないように強く押付けて張付けてください。

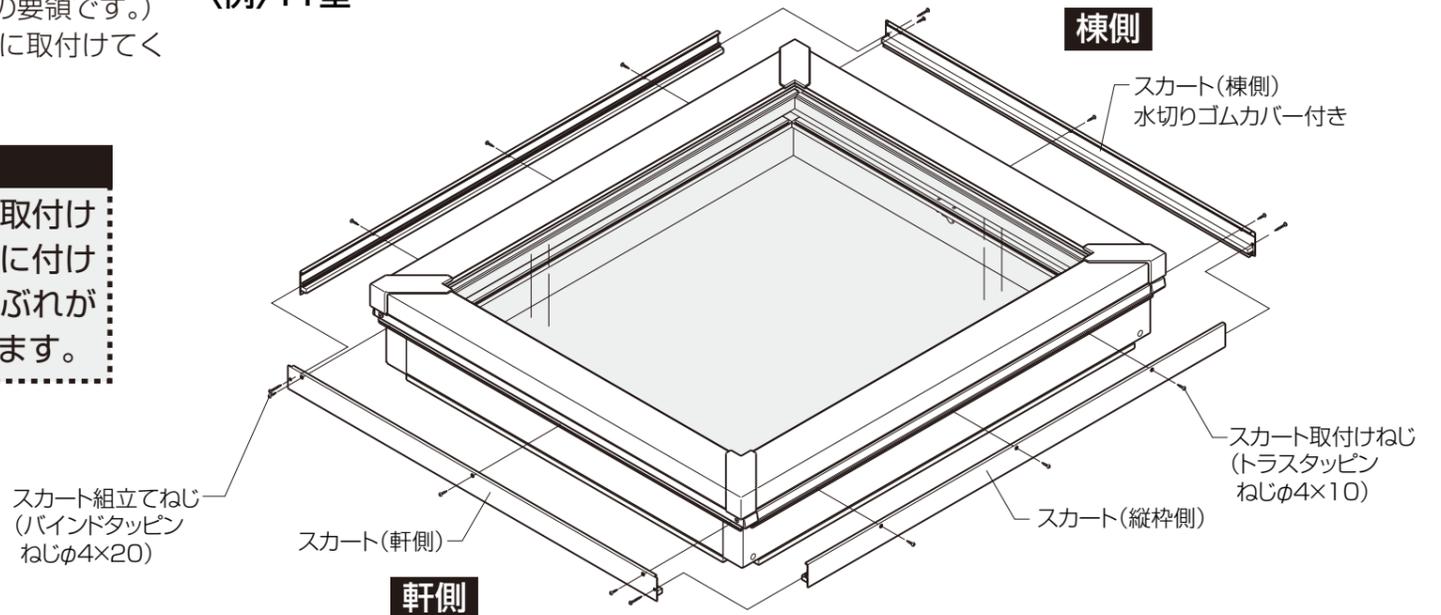
5 スカートの取付け

- 本体のスカートすべてを取付けます。(取付け順序は、1の「①スカートの取外し」の逆の要領です。) このとき、スカート組立てねじを先に取付けてください。

〈例〉TT型

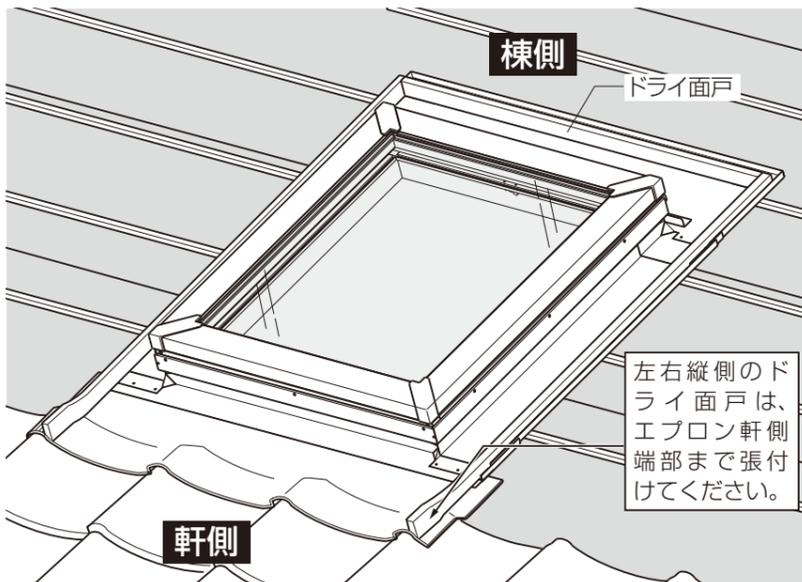
▲ 注意

- スカートの組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先に付けるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなり雨漏りの原因となります。



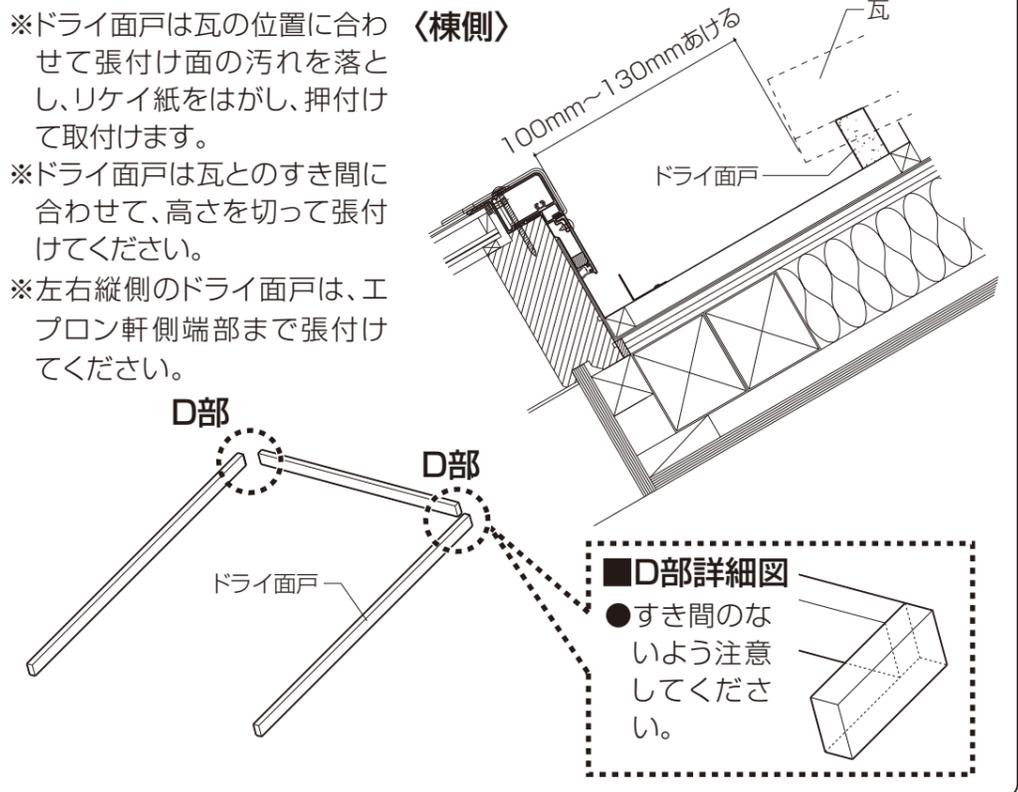
6 ドライ面戸の取付け

- 下図のように3方向(棟側・左右縦側)にドライ面戸を取付けます。



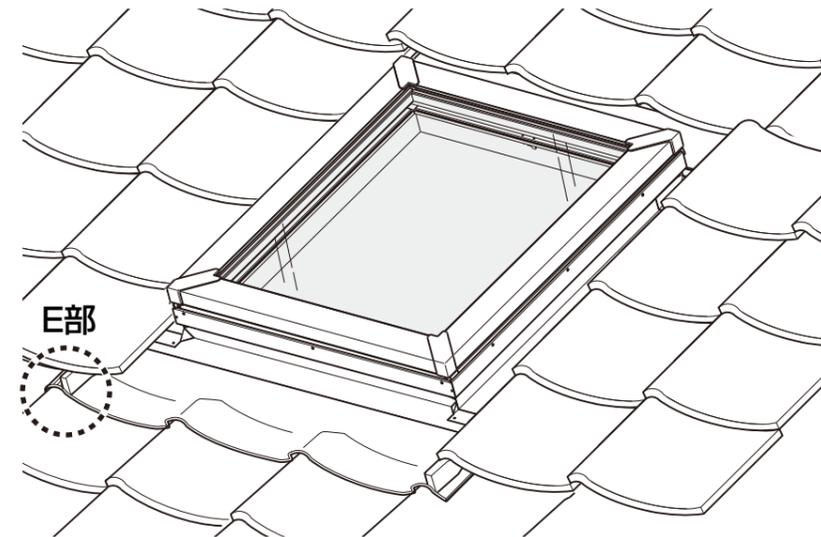
▲ 注意

- 水切りの3方(棟側・左右縦側)には、必ずドライ面戸を張付けてください。

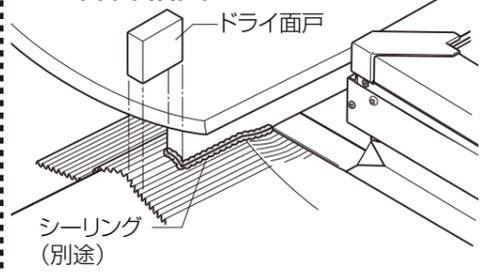


7 瓦の施工

- 瓦をふきます。
- ドライ面戸の余った部分は切取ってください。
- エプロンとドライ面戸のすき間にはシーリング(別途手配)処理をしてください。

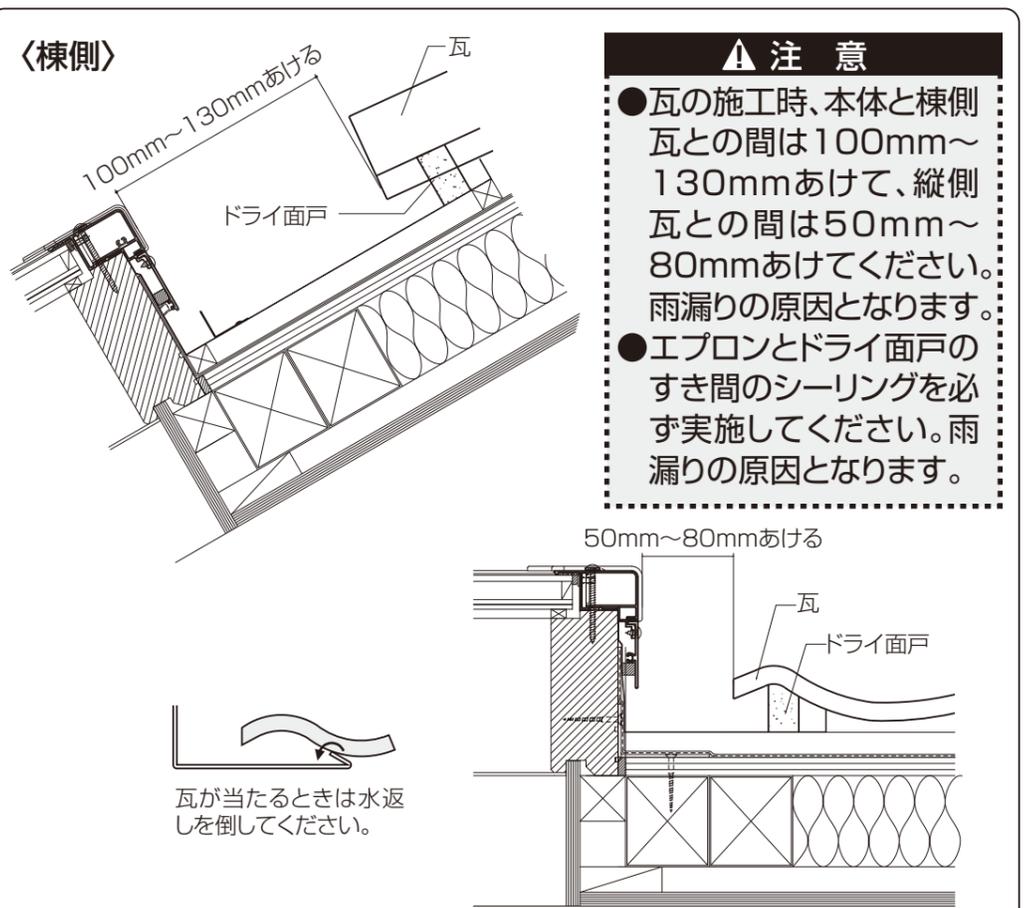


■ E部詳細図



▲ 注意

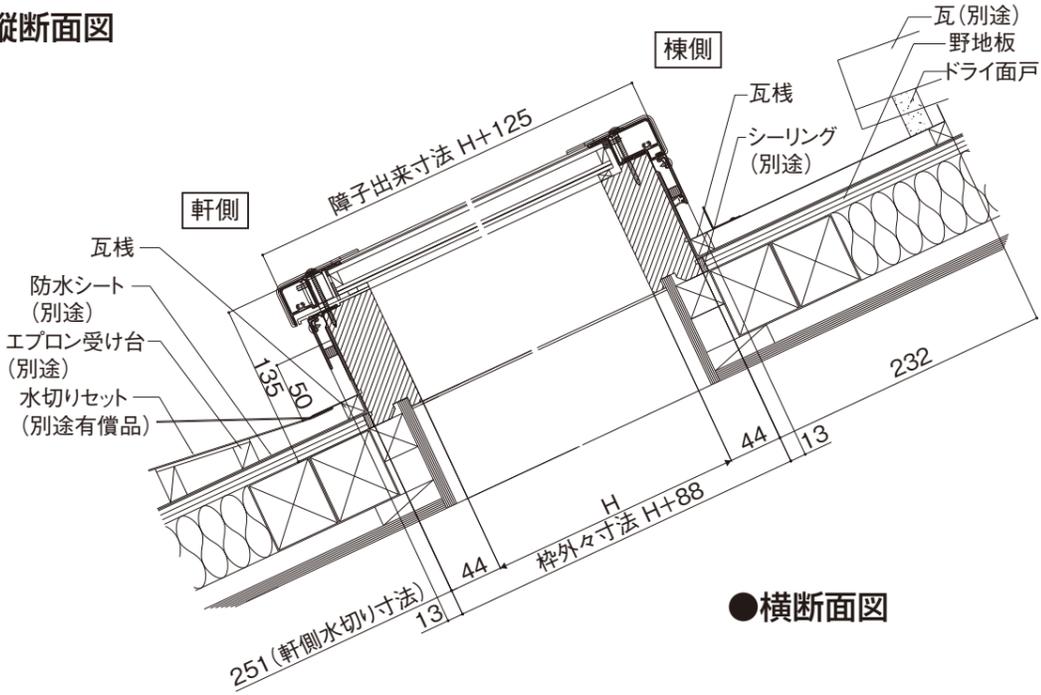
- シーリング指示個所には、必ずシーリング材で防水処理をしてください。



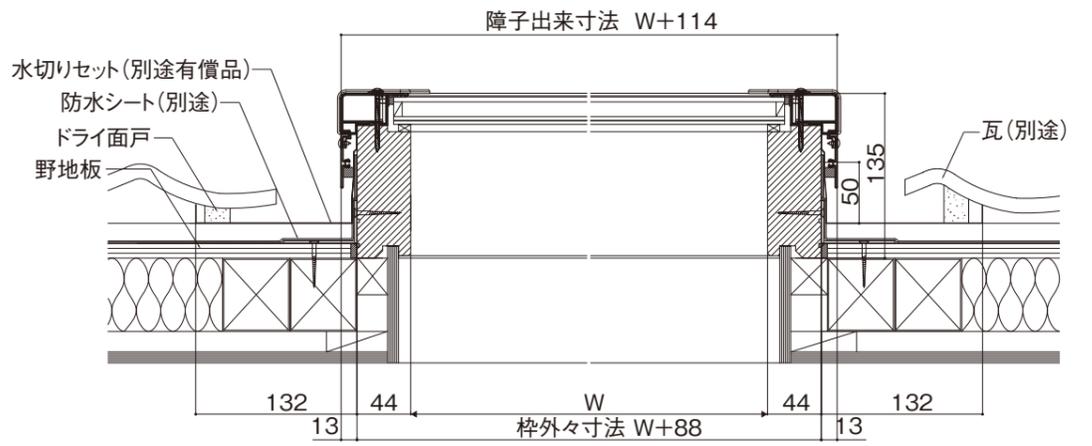
■納まり参考図

〈TF型〉

●縦断面図

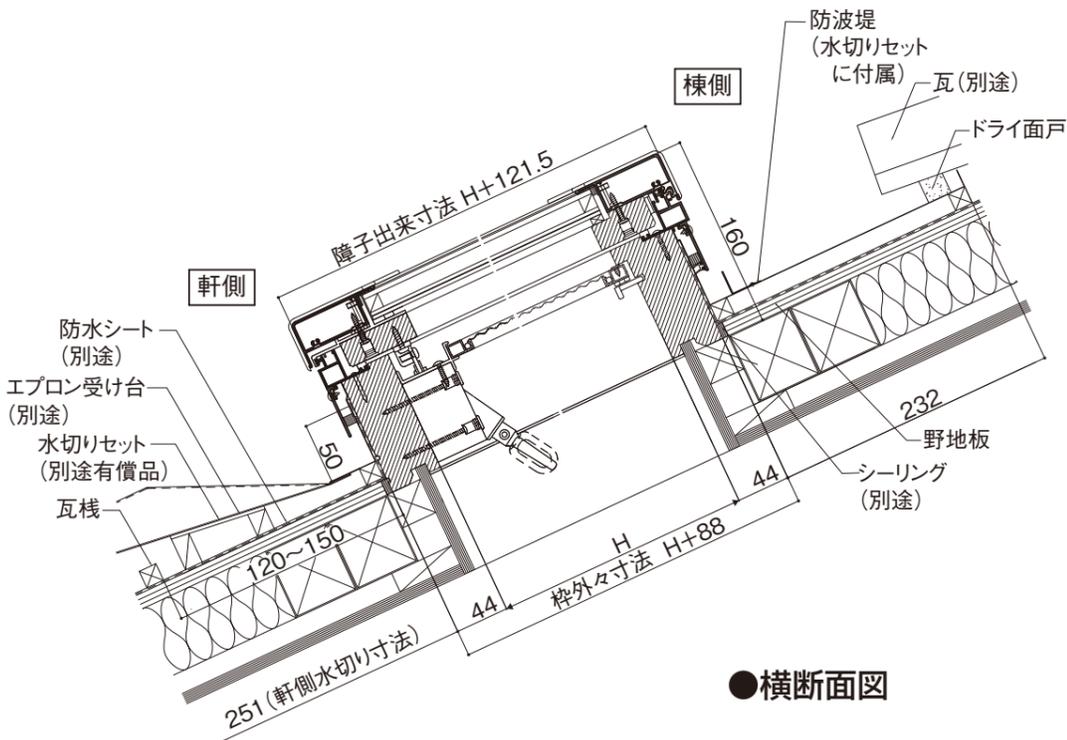


●横断面図



〈TT手動型〉

●縦断面図



●横断面図

